横浜国立大学SDシンポジウム 「大学はどうありたいか」 実施要項

横浜国立大学 SD グループ 学びのひろば 主催

1. 趣旨

2004 年の国立大学法人化から 12 年、日本の大学を取り巻く環境は大きく変化し、各大学は生き残りをかけた自己変革が求められています。大学は厳しい評価に晒されるようになりましたが、日々、高等教育の場で働く人々は、「大学」をどのような場所にしたいと思い、その実現のために、どのような取り組みをしているのでしょうか。

本シンポジウムでは、文部科学省、大学教員、大学職員、国公私立という枠組みを超えて、高等教育に 携わるひとりひとりの想いと力に焦点をあて、「大学」について議論する場を提供します。

2. 日時・会場

日時:平成28年9月23日(金)13:00~17:50(予定)

会場:横浜国立大学 教育文化ホール大集会室

[本学へのアクセス] http://www.ynu.ac.jp/access/index.html

[キャンパスマップ (S1-2)] http://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html

3. 参加対象者

全国の大学教職員、および大学に興味のある学生や一般の方

4. プログラム

開会の挨拶(13:00~13:10)

第1部 大学は危機をどう乗り越えるか(13:10~14:55)

第1部では、「大学」という場に長年携わってきた講演者に、大学の置かれた現状および課題をどう見ているのか、そして、それらにどう立ち向かってきたのかを、ご自身の経験や取り組みを中心に、(参加者へのメッセージとともに)伝えていただきます。

講演1-1: 文部科学省生涯学習政策局政策課長 里見 朋香 氏

講演1-2: 横浜国立大学 教育人間科学部人間文化課程長・教授 室井 尚 氏

講演1-3: 名古屋大学 理事・事務局長 竹下 典行 氏

第2部 大学職員は大学をどう変えるか(15:10~16:25)

第2部では、最前線で活躍している国公私立大学職員に、「大学」が今より良い場となるために、どのように周りを巻き込み、どのように変化を起こしてきたのかを、取り組みの裏にあるご自身の「想い」や「理念」に焦点を当てて共有していただきます。

講演2-1: 東京大学 医学部附属病院管理課経理チーム 府川 智行 氏

講演2-2: 首都大学東京 管理部教務課教務係長 宮林 常崇 氏

講演2-3: 京都文教大学 教務課長 村山 孝道 氏

第3部 質疑応答(16:40~17:40)

第1部・第2部の講演を聞いて寄せられた質問やコメントについて、講演者が回答するだけでなく、 フロアも参加して、全員でディスカッションを行います。 自由な意見交換を通じ、参加者一人ひとりが、自分は「大学」をどのような場にしたいのか、そのためにどのような気持ちで、どのような取り組みができるのかを考える機会とします。

閉会の挨拶(17:40~17:50)

~情報交換会のご案内~

時間:18時~19時半

場所:学内施設(スタッフが案内します)

※会費 2,000 円 (予定) は会場でお支払いください。

5. 参加費について

○会議費:1,000円(税込み) 【事前振込】

- ※ 学生及び横浜国立大学教職員は無料です。
- ※ 会議費は、資料の印刷費、講演者旅費等の運営経費として使用いたします。
- ○情報交換会費:2,000円(予定)【参加希望者のみ。当日、会場で徴収いたします】

6. 参加申し込みについて

以下 URL よりお申込みください。(申込期限:8月31日(水))

https://www.ics-com.biz/web_entry/ynu/entries/add/135

その後、参加費のお振込みについてご案内いたします。(振込み期限:9月6日(火))

7. 問い合わせ先

学びのひろば運営スタッフ: manabi@ynu.ac.jp

※ 電話や FAX 等によるお問い合わせには対応できませんのでご了承ください。

横浜国立大学SDグループ「学びのひろば」

メンバー:

池田裕行(教育人間科学部学務第一係員・リーダー)

櫻井瑠衣 (国際戦略室国際企画係主任・本シンポジウム担当チーフ)

小川雅 (工学研究院助教)、片平剛 (戦略企画室改革推進課副課長)、甘田悠太朗 (財務課外部資金第二係員)、村上健一郎 (国際教育課留学生受入係主任)、柚木聖 (研究推進課研究総務係員)、水谷美由紀 (人事・労務課専門員・オブザーバー)